

[成果情報名]新たに選定された優良乳用供卵牛

[要約]2023年度に新たに遺伝的能力評価値の得られた8頭のうち3頭が新たな優良乳用供卵牛として選定され、供卵牛として利用する。

[担当]山梨県畜産酪農技術センター・乳肉用牛科・塚田 葉

[分類]技術・普及

[課題の要請元]

畜産課

[背景・ねらい]

アメリカから導入した高能力牛および輸入受精卵産子由来の娘牛等について能力検定等を行い、その遺伝的能力評価に基づいて供卵牛の選抜を行い、優良乳用供卵牛選定の基礎資料とする。

[成果の内容・特徴]

1. 2023年度に新たに能力評価された供卵候補牛8頭のうち選定基準（総合指数、産乳成分および耐久性成分のいずれかが全国上位25%以内のもの：山梨県受精卵移植推進協議会作成）に合致する3頭を優良乳用供卵牛として選抜し、所定の手続きにより優良乳用供卵牛に選定された（表1）。

2. 選抜した優良乳用供卵牛の特徴（表2、表3）

○H356は総合指数+1,550(全国上位9%)、産乳成分+1,473(全国上位6%)で産乳能力に優れる。体型形質は、乳用強健性および乳器に優れる。

○H358は総合指数+1,409(全国上位13%)、産乳成分+1,412(全国上位7%)で乳代効果も高く、乳用強健性および乳器に優れる。

○H359は総合指数+1,192(全国上位21%)、乳成分も2015年遺伝ベースよりバランス良く優れている。

[成果の活用上の留意点]

1. これらの優良乳用供卵牛から生産される受精卵の採卵予定、交配種雄牛、在庫状況等については常に変動しているため、詳細は畜産酪農技術センター長坂支所まで問い合わせる。

[期待される効果]

1. 選定された3頭を加えると、センターでけい養する優良乳用供卵牛は11頭となる。これらの供卵牛それぞれの特性をふまえ、次世代においてより良い改良が期待できる種雄牛を選択することで、改良効果の高い受精卵を生産できる。

2. 生産された遺伝的能力の高い受精卵の活用により、県内酪農家牛群の改良が図られる。

〔具体的データ〕

表1. 選定牛の概要

牛No.	名号	生年月日	分娩月日
H356	ロングヒル メイフラワー ブツケム メルクル	R2.1.7	R4.8.5
H358	ロングヒル メイフラワー フレディアコヤ	R2.3.4	R4.5.6
H359	ロングヒル キングボーイ マンオーマン キール	R2.4.7	R4.5.23

表2. 選定牛の初産成績概要

牛No.	分娩状況			発育(24か月齢)			
	在胎日数	産子状況	分娩難易	体重(kg)	体高(cm)	胸囲(cm)	腰角幅(cm)
H356	273	黒和♂	易	486	145	185	46
H358	283	黒和♀	易	560	143	195	52
H359	285	黒和♀	易	637	150	204	53
平均	280	-	-	561	146	195	50

牛No.	検定成績(305日補正)				体型得点(初産時)				
	乳量(kg)	乳脂(%)	蛋白(%)	SNF(%)	体貌と骨格	肢蹄	乳用強健性	乳器	決定得点
H356	10,361	3.5	3.7	9.1	77	80	83	81	80
H358	10,238	3.6	3.4	8.8	80	82	82	80	81
H359	9,081	4.2	3.6	9.2	80	79	79	80	80
平均	9,893	3.8	3.6	9.0	79	80	81	80	80

表3. 遺伝的能力評価値

牛No.	遺伝的能力評価(2023-08)												
	総合指数	(%順位)	各成分(%順位)						EBV				乳代効果(円)
			産乳成分		耐久性成分		疾病繁殖成分		乳量(kg)	乳脂(%)	蛋白(%)	SNF(%)	
H356	1,550	(9)	+1473	(6)	+21	(76)	+56	(30)	+1146	-0.12	+0.01	+0.07	+116,490
H358	1,409	(13)	+1412	(7)	-66	(88)	+63	(27)	+1326	-0.16	-0.07	-0.09	+126,279
H359	1,192	(21)	+863	(31)	+213	(36)	+116	(9)	+368	+0.14	+0.07	+0.08	+46,953
平均	1,384	(14)	+1249	(15)	+56	(67)	+78	(22)	+947	-0.05	+0.003	+0.02	+96,574

〔その他〕

研究課題名：優良乳用供卵牛選抜事業

予算区分：県単

研究期間：1993年度～

研究担当者：塚田 葉、三嶋溪太、田村洋次、内田雄祐